

# 進路相談員だより

第1号（生徒向け）  
令和5年4月11日発行  
北海道教育庁根室教育局

いよいよ、新年度がスタートしました。

1年生の皆さんは、御入学おめでとうございます。

2、3年生に進級された皆さんは、今まで以上に大切な自分の将来を見据えた高校生活にしてください。

【高校生のうちにやるべきこと！ 今しかできない経験をしよう】

まず、今企業が高校新卒者に求める能力を紹介します。

〔1〕企業が高校新卒者に求める能力



※ この表の1位から3位（1位コミュニケーション能力、2位基礎学力、3位責任感）までは、大学新卒者も同じ内容です。

〔2〕これを踏まえ、「高校生のうちにやるべきこと・やっておきたいこと」は…。

- ① 勉強する
- ② 資格を取得しておく
- ③ インターンシップに参加する
- ④ ボランティアに参加する
- ⑤ 本を読む
- ⑥ 学校行事を楽しむ
- ⑦ 部活動に打ち込む
- ⑧ 地元で仲のいい友達をつくる
- ⑨ 敬語やマナーを覚える
- ⑩ 親孝行をする

（①～⑩の詳細説明は次頁に記載）



皆さんの就職活動を応援します!!



根室教育局、キャリアプランニングスーパーバイザー（進路相談員）の平山 明（ひらやま あきら）と申します。

この進路相談員だよりの発行はもとより、進路相談や進路講話、面接指導等を行います。

皆さんのより良い進路が実現するよう、先生方と協力しながら頑張りますのでよろしくお願いいたします。

就職に関する相談等がありましたら、先生に伝えて気軽に問い合わせてください。



① 勉強する

高校生のうちに勉強する習慣やスキルを身につけておかないと、大人になってから勉強をしようと思ったときに勉強法がわからず挫折することも少なくありません。  
高校生のうちだからこそ、さまざまな勉強法を試して自分に合うやりかたを探っておきましょう。

② 資格を取得しておく

資格取得にチャレンジする理由は大きく2つあります。  
1つ目は、進学や就職に役立つことです。資格があると、自分のスキルを客観的に証明できます。また就職の際の求人先や大学の学部、選抜試験の募集要項によっては、資格が必要条件になっていることもあります。  
2つ目は、目標をもって勉強に取り組めることです。資格は、合否がはっきりと示されるため、自分が達成すべき目標を明確に定めることができます。目標が明確になればやるべきことも明確になり、勉強のモチベーションも保ちやすくなるでしょう。高校生が取得できる資格は多く、進学や就職に有利になるものが複数存在します。

③ インターンシップに参加する

インターンシップに参加し、職業体験を積むことは、本やネットには載っていないリアルな情報に触れ、自分の五感で仕事を体感することができます。また、参加することにより多様な大人と出会うことができ、社会人に対するイメージも変わります。

④ ボランティアに参加する。

高齢者・障害者・子供の福祉活動から、森林・河川・海洋など自然や環境保全に関するボランティア、災害復興支援・平和活動・スポーツ・まちづくり・男女共同参画まで、分野は幅広く存在します。ボランティアに参加すれば、社会の授業で学ぶだけでは決してわからない世の中のリアルに触れることができます。高校生のうちに社会問題の現場に立ち会っておくことはきっとその後の人生に生きてくるはずです。

⑤ 本を読む

数時間から数日間かけて本を読むだけで、著者が長年積み重ねてきた知恵や知識を吸収することができます。小説や評論はもちろん、さまざまなジャンルに手を伸ばしてみましょ。

⑥ 学校行事を楽しむ

体育祭・文化祭・合唱コンクールなど、学校行事を全力で楽しむのも高校生ならではのです。大学生や社会人になってからも大きな行事はありますが、高校のときのように青春を感じられるものはきっとありません。行事期間中はもちろん、準備期間や打ち上げも含めて楽しめるため、高校時代の大切な思い出になるでしょう。

⑦ 部活動に打ち込む

大会・コンクール発表会など大きな目標に向けて日々の練習を積み重ねていくことはもちろん、その後の人生の大きな糧になります。

⑧ 地元で仲のいい友達をつくる

高校を卒業すると、都心で一人暮らしをしたり等、就職・進学に合わせて実家を出る人も多くなります。地元で仲のいい友達をつくっておけば、たまの帰省や同窓会のときに集まる楽しみが増えます。

⑨ 敬語やマナーを覚える

敬語やマナーを覚え、社会に出ても恥ずかしくないよう勉強しておきましょう。電話の取り方・基本的な言葉遣い・身だしなみなど、ビジネスマナーが身につけていけば、いいスタートダッシュが切れるでしょう。

⑩ 親孝行をする

10代からでも親孝行はできます。日々のちょっとしたことに感謝の気持ちを伝えたり、親の誕生日や記念日には家事を手伝うだけで、親御さんはきっと喜んでくれるでしょう。

※最も大切なのは「やりたいことに挑戦すること」です。お金や時間の制約があるなかでも、できる範囲で少しずつでも構わないので、自分が興味のあることにどんどん着手していきましょう。